別紙様式1

令和5年度　学校評価表　（当初）

三原市立木原小学校　校番（ 3 ）

a 学校教育目標	自らをきりひらく たくましい児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】（自校の使命）　主体的・協働的に取り組み，やりぬく児童の育成 【ビジョン】（自校の将来像）　地域とともに歩み，児童が豊かに成長する安心と信頼のある学校

評価計画						自己評価					改善方策	学校関係者評価			
	c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	9月 h 達成値	2月 h 達成値	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価 イ	ロ	ハ	コメント
確かな学力の育成	基礎的な知識・技能をはじめ学ぶ意欲や思考力,表現力等の確かな学力の育成を図る。	(1)基礎的な知識・技能及びICT活用スキルを習得させる。	○ドリルや各種学力テストを通して個の課題を把握し，R-PDCA（調査ー計画・実践・評価・改善）に基づく学習指導を組織的に行う。 ○「児童生徒のICT活用の系統表」に基づき，児童が自らICTの特長を理解して活用する授業を計画・実行し，学習のまとめなどを発表する機会を設ける。	・NRT目標偏差値達成学級 ・校内検定テスト目標点（80点）達成児童 ・標準学力調査（全国＋10P）達成児童 ・児童アンケートで，「ICT活用のよさ」や「どう活用したか」などに記述等で回答した児童	90% 100%										
		(2)表現力並びに主体性・協働性を育てる。	○児童が主体となる授業づくりを行う。 「複式学級指導の手引き」の研修（4月），「きはら学びのステップ」状況報告会（学期末），ファシリテーションを重点課題とする授業公開（年間3）	・児童アンケートで，表現力や主体性，協働性に関わる項目に肯定的に回答した児童	90%										
豊かな心の育成	自己を高め，他者とよりよく関わり協調しようとする豊かな心を養う。	(1)自ら行動し，やりぬく意欲と自信を育てる。	○個に応じて暗唱，読書，挨拶の目標を設定し，やりきらせる。学校行事，児童会活動に向けて個人で目標を設定し，自己の変容を振り返らせる。	・名人チャレンジで目標を達成した児童，キャリア・ログで「行事などでの自分の頑張り」を記述等で回答した児童	100%										
		(2)他者を思いやり，協働する態度を育てる。	○特色ある地域の学習材や人材を活用した授業づくり（ふるさと学習）を充実させ，地域との交流やお世話になった方々への感謝の気持ちを伝える場を設定する。	・児童アンケートで「木原の好きなところ」や「地域の行事に参加したいか」「楽しかった地域での交流」などに記述等で回答した児童	100%										
健やかな体の育成	健康でたくましい心身の育成を図る。	(1)運動への意欲を育て，体力を向上させる。	○新体力テストの結果から個に応じた目標を設定し，体育科授業やチャレンジタイムを通して，運動に親しむ機会を作り，自己の変容を振り返らせる。	・児童アンケートで「運動は好きですか」「体育の授業は好きですか」などに肯定的に回答した児童（1・2学期） ・自分の目標を達成したり，達成に向けて努力した自分を認める振り返りを行ったりした児童（3学期）	100% 100%										
		(2)健康で安全な生活習慣を身に付けさせる。	○健康生活チャレンジウィークを設定する。これにより，児童が自己の生活を振り返り，よりよい生活を実践することによって，基本的生活習慣の定着を図る。	・健康生活チャレンジウィークにおける「早寝」「早起き」の達成度	80%										
信頼される学校の形成	安心と信頼のある学校を創る。	(1)保護者・地域の学校への理解を深める。	○学校・学級だよりを計画的に発行し（学校だより月1回，学級だより月2回以上），木原小トピックス等によりホームページの充実を図る。 ○保護者・地域の方と連携・協働する「ふるさと学習」を充実させる。	・地域，保護者アンケートでの肯定的評価	90%										
		(2)安心・安全な学校づくりを推進する。 （不祥事ゼロ）	○「木原小セーフティガード」の活用や不祥事防止研修の工夫により，安心・安全に対する職員の意識を継続・強化する。 ○業務改善を推進するとともに，目標の共有と協働により，教師のウェルビーイング（やりがい）を高める。	・「木原小セーフティーガード」での肯定的評価4段階4以上の割合 ・地域，保護者アンケートでの肯定的評価	90% 90%										

【j：自己評価　評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

【学校関係者評価　評価】
イ：自己評価は適正である。
ロ：自己評価は適正でない。
ハ：分からない。